

日中大学における新型コロナウイルスの対応実態と課題

～和歌山大学と山東大学の実践を中心に～

和歌山大学経済学部

宋 謙

山東大学経済学院

劉 鎧豪

1.はじめに

2020年、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のパンデミックが世界中で起こった。安倍首相は、2月26日には大規模イベント自粛を要請し、27日には全国一律の学校休校要請を出した。4月7日、総理大臣官邸で第27回新型コロナウイルス感染症対策本部を開催し、改正新型インフルエンザ等対策特別措置法第32条第1項の規定に基づき、緊急事態宣言を発令した。緊急事態措置を実施すべき期間は、令和2年4月7日から5月6日までの1か月間とし、実施すべき区域は、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、大阪府、兵庫県、及び福岡県の7都府県とした。その後、緊急事態措置を実施すべき期間を5月31日まで延長し、実施区域を全都道府県まで拡大した。その中、緊急事態宣言に先駆け、3月から小・中・高校が一斉休校となり、大学も閉鎖された。現状では、小学校、中学校、高校は6月以降、感染予防措置を取りながら再開しているが、大学だけが閉鎖または準閉鎖の状態で機能停止を続けている。ほとんどの大学が構内への立ち入りを制限し、授業の多くはオンラインで行われ、対面授業は一部しか再開されていない。

現時点、日本では感染者数が減少し、引き続き第三波の感染増加の警戒はしつつも、緊急事態宣言解除により、フェーズが変わりつつある。とりわけ新型コロナウイルスの感染拡大を背景にオンライン授業や在宅勤務の導入など、これまでの生活様式が変わる兆しも見え始めており、ウイルスと共に生きようという「withコロナ時代」を模索する動きに変わりつつある。この傾向は、コロナが収束した後も、昨今の働き方改革や企業の生産性向上と相俟って、多少は元に戻るものの、コロナ感染拡大以前の状況と比較して相当進んだ形で常態化することが見込まれる。

本稿は大人数かつ密集しやすい大学の教育研究の現場から新型コロナウイルスの対応実態と課題を探るため、本学と海外連携校の山東大学の取り組みを注目したい。

2.和歌山大学における対応実態

和歌山大学では、2020年4月7日に、多くの学生が居住する大阪府に緊急事態宣言が発令されたことを受け、学生の登学を禁止し、図書館、体育館、グラウンド等の栄谷キャンパスにある施設を閉鎖するとともに、学生の課外活動も禁止とする措置をとることとし

た。その後、授業開始日を遅らせ、5月7日から遠隔授業（e-Learning）等に変更していた。5月31日に緊急事態宣言が全都道府県で解除され、登学禁止の一部解除を取ったものの、課外活動・サークル活動については、引き続き6月24日まで禁止された。第2クォーター開始日（6月25日）以降は、実験、実習、実技等の対面実施が必要な授業科目を除き、遠隔授業で引き続き実施していた。課外活動・サークル活動団体からの申請を審査し、感染防止対策が出来ていると大学が判断した場合には、一定の条件を付けたうえで、6月25日以降順次、活動を認める方針が打ち出された。7月以降、「新たな日常」に対応した行動方式が提唱され、日頃から3つの密（密閉・密集・密接）が発生する場所を徹底して避けるとともに、大人数会食とイベントの自粛などを呼びかけていた。10月1日から後期授業では、遠隔授業と対面授業のハイブリッド方式が採用され、マスクの着用と手指消毒、空席を設け着席位置指定、定期除菌などの措置が講じられている。



図 1. 大教室座席と消毒液の設置

出典：筆者撮影



図 2. 学生食堂と注意喚起ポスター

出典：筆者撮影

しかしながら、11月に入り、新型コロナウイルス感染症の罹患者が大きく増加し、いわゆる第3波の感染段階に入った。本稿の執筆中において、大阪府は国が運用している4段階の感染状況に基準で危険度の最高状態であるステージ4に近づいている状況となっ

た。和歌山県でも連日 10 人以上の感染者が出ており、本学からも複数の罹患者が出ていた。こうした感染リスクが高まる事態の中、大学側にとって安全・安心な教育環境の整備が求められる一方、学生・教職員自らの積極的な予防対策も不可欠である。

3. 山東大学における対応実態

2020 年 1 月 23 日に武漢ロックダウンが実施され、全国各地で外出戒厳令も出された。山東大学は山東省内 3 都市(済南 6 キャンパス・威海 1 キャンパス・青島 1 キャンパス)に分布しており、約 7 万人の在学学生を擁する大規模総合型大学であることから、2 月以降(中国ではちょっと春節期間中だった)の登校が禁止され、すべて遠隔授業で実施されていた。中国の大学は基本、学内にいる学生寮で生活のため、大学に居残らせられた学生や外国人留学生などに対して、寮ごとに専任スタッフを配置し、生活用品の調達や日常の連絡に割り振りをして学生の外出禁止が講じられた。登校禁止期間中においては、どうしても大学に戻りたい学生に対して“外出禁止”に関する誓約書を提出させ、大学に戻ったら寮生活と同じよう対応方式が取られた。

写真に示すように、2020 年 4 月 14 日に、山東大学は学生の春季帰校に関する総合訓練が実施された。訓練では「帰校手続き」「寮生活」「食堂購買」「授業」の 4 つの場面を想定し、感染予防対策を重点的に行った。



図 3. 感染予防対策訓練

山東大学「山大視点」<https://www.view.sdu.edu.cn/>より転載

「帰校」の場面では、送迎用臨時駐車場、大学構内へのアクセスポイント、検温ゲート、荷物消毒ポイント、本人確認ポイント、保健所と一時滞在ポイントを設置し、スタッフが学生を誘導しながら、荷物消毒、検温、帰校用二次元コードや健康コード¹をスキャンして学生の健康状況の確認作業が行われていた。訓練では、感染者が学内で発生した場合の緊急対応などのシミュレーションに重点を置いていた。

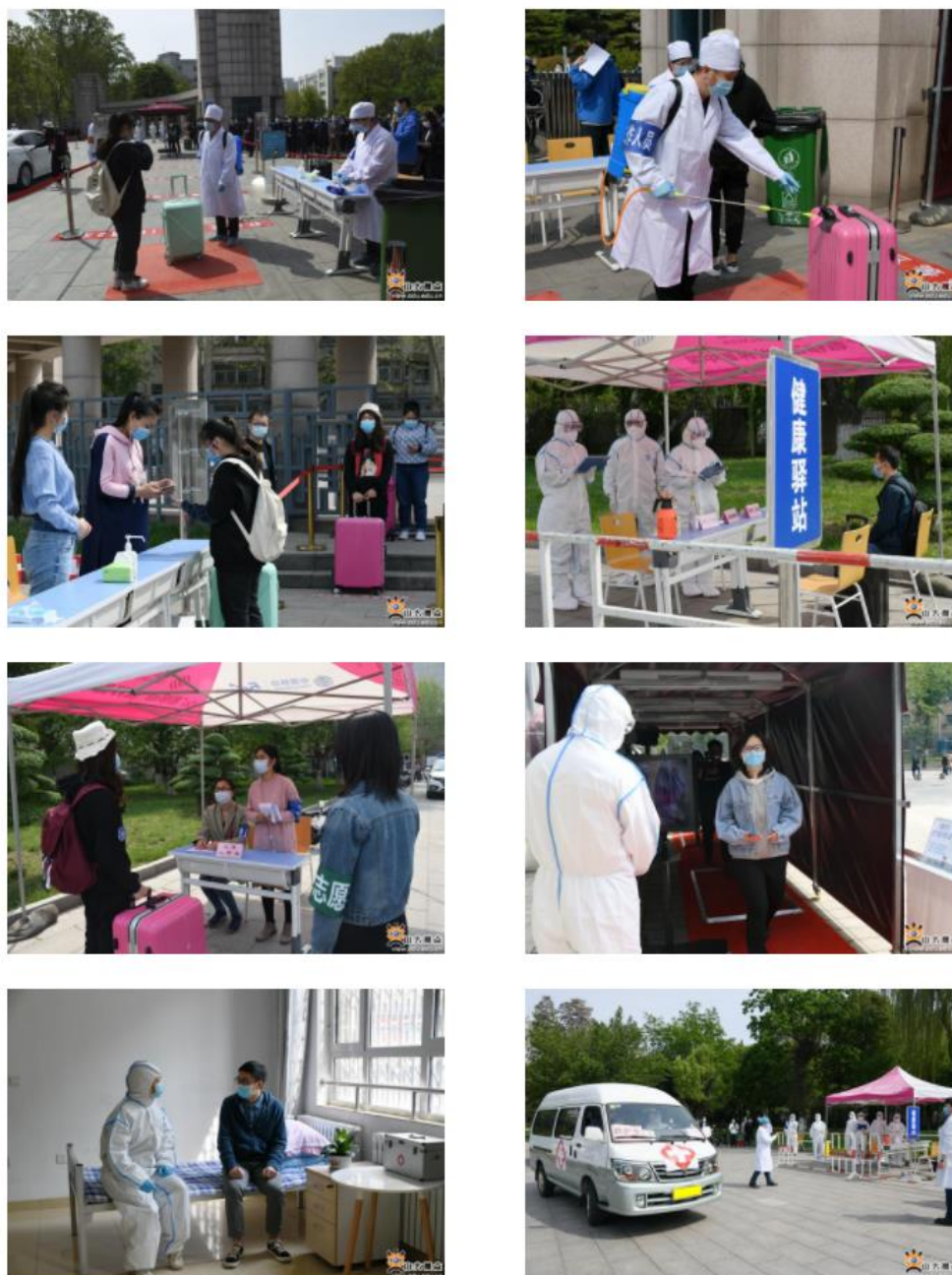


図 4. 入学対策

出典：同上

¹ 健康コードとは、ユーザーの GPS 位置情報の履歴と健康情報、そして隔離対象者のリストとの照合により、ユーザーの感染リスクを判定し、それに応じて色分けされたコードを発行する。外出先では「健康コード」の提示が求められる。



図 5. 健康コード

(緑は外出可能、黄は 7 日間隔離、赤は 14 日間隔離)

出典:wechat プラットフォーム

大学期末試験においては、感染予防で密集や密接の回避が求められることを受け、大学が独自に開発した受験システム「雲試験プラットフォーム」(雲考試平台)を用いて、オンライン試験が実施された。このプラットフォームは顔認証システムを導入しており、自宅でも学生本人の受験を確認することができる。また、受験過程をリアルタイムで監視し、不正行為などが随時に保存されるため、試験の透明性も保つことができる。手書き必要な記述式問題については、スマートフォンで撮った回答の写真を、QRコードを通じて直接システムにアップロードできるように整備されており、学生側にとってスムーズに受験することができる。



図 6. オンライン試験選択問題画面

出典:山大欧瑪雲試験プラットフォーム使用説明より転載



図 7. オンライン試験記述式問題のアップロード画面

出典: 同上

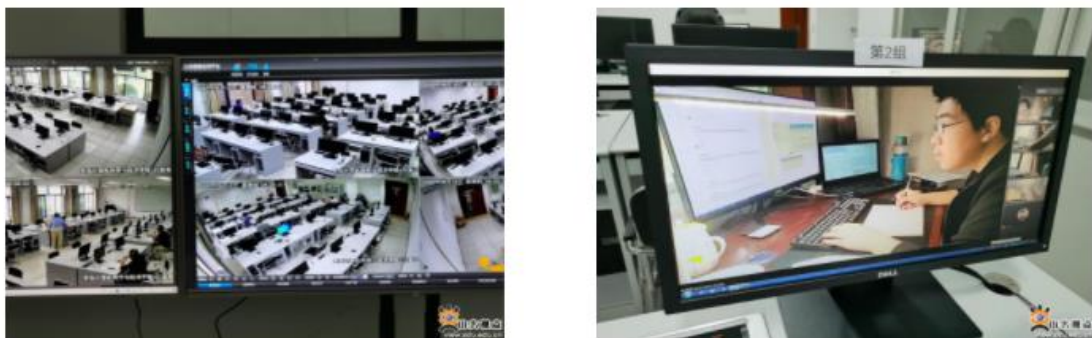


図 8. 学内試験場と自宅受験様子

出典: 山東大学「山大視点」<https://www.view.sdu.edu.cn/>より転載



図 9. 学内検温アラームシステムと食堂指定テーブル(マスク掛け用フック付き)

出典:筆者撮影

また、山東大学においては、帰校学生と教職員全員を対象に PCR 検査陰性の条件で入構を許可する措置を取っていた。前述の予防対策に関する大規模訓練と感染者対策をしっかりとっていることで、現在、大学の教育・研究活動が正常化に戻りつつである。

政府においても、強力な規制手段を取りながら、感染者 1 人がでたら、広範囲で徹底的に PCR 検査を行う態勢を整えている。例えば、10 月 11 日、中国本土基準で 56 日ぶりに新型コロナウイルスの感染者が発生した山東省青島市では、感染が確認された 6 人の他にさらに 6 人の感染者が確認されたところ、青島当局は同月 16 日までに、同市に居住する約 900 万人全員に PCR 検査を実施した。この検査は 10 人単位で組を編成し、検体を混ぜて検査する方法で実施された。いわゆる、1つの試験管に複数の検体を入れる「プール方式」が採用されることで、迅速な検査が実現された。

4.おわりに

現在、日本ではすでに後期授業に突入している。萩生田光一文部科学大臣も記者会見において、「ポストコロナ期における新たな学びの在り方」をテーマとする教育再生実行会議の報告を述べているほか、「オンラインと対面のハイブリッド教育の模索」を各大学へ要請している点を強調している。しかしながら、10 月以降、全国の大学ではクラスターが相次いで発生し、課外活動や対面授業の真価が問われている。

日本では、中国のようなロックダウンは法的に定められておらず、大学でも寮生活方式ではないことから、学生の行動を制限することが不可能である。一方、中国では大学封鎖によって外部とのつながりがシャットダウンされ、従来の学内での就職活動（校招）が開催できなくなり、学生の進路に大きな影響を与えた。

本稿で紹介した日中大学の取り組みのように、ポストコロナ時代における大学の教育・研究方式の転換が求められる中、従来の大学の社会的役割をどう果たすべきかについても真剣に考える必要があると考えられる。